

いまこそ必要！おやじの背中

～白楊小学校おやじの会の取り組み～

札幌市立白楊小学校おやじの会会長 いそ べ 磯部 よし かつ 吉克

1 知っていますか？おやじの会

父親は日中働いているため、母親に比べPTA活動や学校行事への参加が少ないです。そのため、母親の役割に負担が増している状況にあることから、父親の家庭教育への積極的な参加が求められています。

1990年代に、全国各地で父親の家庭教育参加促進などのため、さまざまな取り組みが行われ、学校や地域の活動を通して父親が子どもたちと積極的に関わろうというグループ「おやじの会」が設立されてきています。全国に3,000団体とも4,000団体あるともいわれています。平成17年には京都で「全国おやじサミット」が開催され、今後も各地で「おやじの会」が結成され、ネットワーク化する傾向にあります。

2 白楊小学校「おやじの会」

白楊小学校では、平成13年に「おやじの会」が発足し、私が3代目の会長となります。現在22人が登録されています。お父さん方の加入動機は、「たまには子どもに格好いいところを見せてやりたい!」、「学校行事に参加して親と子の交流を深めたい!」、「父親同士のコミュニケーションを図りたい」との思いからが多いようです。

「おやじの会」では、主に運動会の用具出し入れ準備やグラウンドの除雪、花壇づくりなどを手伝います。規約も会費もない、気楽で気軽な会のため、

年々会員は増加傾向にあります。自分の好きな時間に参加できるのが利点でもあります。



子どもたちとおやじの会作製の滑り台

3 父親同士のコミュニケーション

私は、娘の入学と同時に「おやじの会」に参加しました。最初の行事は「運動会」です。「白楊小の親父」と書かれた法被を着てスターターや用具の出し入れを手伝いました。これまではビデオやカメラを持って応援するだけでしたが、競技場の真ん中で子どもたちを見ることができ、一緒に参加している感じがして楽しかったです。

娘からは「お父さん、今日、ピストル撃ってかっこよかったよ!」とねぎらい?の言葉をもらいました。父親の背中を見てくれたのがうれしかったです。高学年になると「お父さん、忙しいのによくやるね～目立つことが好きなの?」とからかわれています。

「せっかくの休日、学校行事の手伝いはつらい」という父親は多いと思います。でも参加が少ない

父親にとってはいい機会です。ぜひ参加してほしいと思います。父親同士のコミュニケーションを深め、人生の先輩として子どもたちと語り合えば、少年犯罪の防止対策にもなるはずです。できる範囲で行事に参加し、活動していただければ良いのです。

子どもの成長はあっという間です。PTA 活動などは今しかできないと思います。仕事で忙しいかもしれませんが、休日のほんの少しでもいいです。ぜひ多くのお父さん方に参加していただくことが願いです。

白楊小学校おやじの会の取り組み

白楊小学校おやじの会では次の活動に取り組んでいます。

運動会（5月）

運命走のスターターや、玉入れの籠^{かご}持ち、各種競技の用具の出し入れなどを手伝います。巡回警備も行っています。



「よ〜いどん!」と慣れた手つきの会員

白楊のつどい（10月）

「白楊鍋」と「ゲームコーナー」を出店しています。一杯50円の豚汁風味の「白楊鍋」は大人気で、毎年あっという間に完売です。出店に際し、保護者やOBなどの皆さまに野菜や肉、景品などをご協力いただいています。



白楊鍋を販売する会員

アイス・スノーキャンドル（2月）

土台の製作や点火・警備係などのお手伝いをしています。「おやじの会」作製の巨大滑り台は子どもたちに人気があり、長い列ができています。

PTA ソフトバレーボール大会（12月）

各学年など約8チームが参加。「おやじの会チーム」は毎年負け越しと不本意な結果に終わっていますが、日ごろの運動不足解消となっています。その後のビールが最高に美味しい!

校地内の環境整備のお手伝い（随時）

平成18年に白楊小のピオトープに木製のベンチ4脚、テーブル1脚を作製。職人にも負けない、おやじたちの手作りによるベンチが完成。ベンチに座って小鳥など観察し、子どもたちの憩いの場となることを期待しています。



ベンチの作製に励む会員



グラウンドの雪割作業（4月）

小学校のグラウンドが早く使えるように、おや

じの会とサッカー少年団関係者らとグラウンドの雪割り作業を行っています。除雪機や持参したスコップで雪を掘り起こします。



雪割り作業・除雪する会員

自主的なパトロール活動

「子どもおたすけパトロール」などのステッカーを車に張り、通学路など自主的なパトロール活動を行っています。

懇談会（随時）

各種行事の終了後、会員や先生らと交え懇談会を開催し、「おやじ」たちの親睦を深めています。さまざまな職種に、30代から50代までの年齢層の会員らとの議論は深夜に及ぶこともあります。

おやじの会だよりの発行（年数回）

毎年数回、活動内容を掲載した「おやじの会だよりの」を発行し、全校生徒に配布しています。

「おやじの会」のホームページ（随時）

ホームページでは、活動の輪をさらに広げるため、おやじの会のPRや、会員の募集を図っています。他校との情報共有も行っています。

アドレス

<http://www2.shogo.com/yoshikatsu/oyaji.htm>

5 未来を担う子どもたちのために

私も含め、子育て期の30～40代の父親は、仕事が多忙な時期でもあり、職場が必ずしもPTA活

動など父親の子育てに対する理解があるとは言いきれません。の中で、子育てについての時間的、精神的なゆとりを確保することが難しく、子育てに関わることが思うようにできない、子育てや地域活動に参加したいという気持ちを持ちながらも、その時間や機会がなかなかとれないというジレンマを抱えているのも現状です。

未来を担う子どもたちの健やかな成長は社会全体の願いです。子どもたちが健やかに育つまちを目指すには、家庭をはじめ、地域、企業、行政がそれぞれに子育てに対する理解を深め、連携を取り合い、社会全体で子育て支援に取り組むまちづくりを進めることが重要です。そのためには、仕事の都合を考慮して活動できる法律や制度的な整備、子育てや地域の活動に気楽に参加できる職場環境をつくる必要があります。

今後、多くの父親が子どもたちと遊び、向き合い、語り合う姿の場である「おやじの会」が全国各地に増え、活動が活発化されていくことを期待しています。



親父の飲み？ニケーション



長い行列ができる滑り台